

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	異文化コミュニケーション		
担当者(Instructors)	吉村 美路	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

異なる文化背景を持つ人々において、文化が個人・集団・国家の規模で私たちにどのような影響を与えていているのか理解し、グローバル社会でどのように共存すべきかを学ぶ。授業では多くの事例を活用します。海外で使用される日本文化のテキストの紹介・日本から海外に行った留学生の事例・海外から来日した留学生の事例など、受講者自身が文化的相違を持つ者の間で発生する課題や、新たな価値創造について考察できるよう構成されています。質問等の受付については、授業内で指示します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業は講義を中心に必要に応じてグループワークも取り入れ、受講者同士で協力しながら学習を進めます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション～授業スケジュール・講義概要～	授業計画・成績評価の方法・学習の目的と目標・習得すべきスキルなどについて解説します。	<input type="checkbox"/>
第2回	日常生活の中の異文化 ーなぜ常識は国によって異なるのか？ー	1. 常識の違い 2. ほめ方・叱り方の違い 3. [事例紹介]あのはなぜ怒っているの？	<input type="checkbox"/>
第3回	各国のコミュニケーション ー交流スタイルはそれぞれどのような背景から形成されたの？ー	1. 各国の文化形成の要因 2. 異文化に直面したとき 3. [事例紹介]せっかく気を遣ったのに、なぜ？	<input type="checkbox"/>
第4回	異文化における「食」の違い	1. 高級料理もB級も、国次第 2. タブーと言われる食 3. 手食文化・箸文化・ナイフ、フォーク、スプーン文化 4. [事例紹介]ネバネバ、パサパサの食材が生み出す食文化	<input type="checkbox"/>
第5回	異文化への適応過程 ー異文化に触れた時、なにが私たちに起こるのか？ー	1. 自国文化と持って生まれた性格による影響 2. 相手の気持ちがわからない？ 3. [事例紹介]各国CMの違いから何が見えるか？	<input type="checkbox"/>
第6回	異文化なのに、パターンは同じ？ -国の交流のない時代に作られたものなのに、発想パターンが同じなのはなぜだろう？	1. 生物学的なものの影響と文化の影響 2. [事例紹介]おとぎ話には各国共通のパターン・文化圏で共通のパターン 3. [事例紹介]各国価値観の心理実験：ヨットマン物語への反応の違い	<input type="checkbox"/>
第7回	気候風土に影響された、国民性・住居・被服を比較してみよう	1. 気候は性格形成にどのように影響するか 2. 気候により異なる住居・家具 3. 気候と被服、文明化による変化の各国比較	<input type="checkbox"/>
第8回	遺伝か環境か？各国における国民性の決定因はどこにあるか 世界紀行[1]	1. 各国の国民性特徴について 2. もしかしたら、日本人の遺伝子を持ち中東の砂漠に生まれたら？ 3. 国の歴史は、国民性にどのように影響するか？ 4. 宗教と国民性	<input type="checkbox"/>
第9回	仕事についての各国の考え方の相違 世界紀行[2]	1. 「働く」ことは良いこと？悪いこと？ 2. 国民の長所を生かした、各国の得意なビジネス分野 3. [事例紹介]国によってこんなに違う。多くの国が、自国の得意な分野を生かして、世界を舞台に戦っている。 4. 日本はどう生き残るか？	<input type="checkbox"/>
第10回	このあたりで、日本について考えてみようか 世界紀行[3]	1. 海外の人からすると、とても複雑な日本人の心(ホンネとタテマエの文化) 2. [事例紹介]「気にしないでいいよ」と言っていたのに。ほめるたびに、なぜ否定するの？ 3. ここは似ている、日本と海外のことわざ似ているポイント	<input type="checkbox"/>
第11回	「美しさ」「カッコよさ」の各国の相違 世界紀行[4]	1. 各国の美しさの基準 2. [事例紹介]美しさ・カッコよさの決定因とは？ 3. 「I'm from Missouri！」	<input type="checkbox"/>

第12回	各国の恋愛・結婚文化について 世界紀行[5]	1.国によって違う、恋愛観・結婚観 2.【事例紹介】結婚の儀式の前に…。日本の男性は、なぜ人前で奥さんをほめないの？ 3.今は価値観も多様、あなたはどう生きる？	<input type="checkbox"/>
第13回	ビジネスにおける各国の対応・処理の傾向をつかんでおこう 世界紀行[6]	1.問題解決における各国の相違 2.理想のリーダー像は国で異なる 3.【事例紹介】日本のあたり前が、まったく当たり前ではない現象	<input type="checkbox"/>
第14回	異文化圏への挑戦：あなたは何に遭遇するのか? 世界紀行[7]	1.【事例紹介】日本の学生と海外の学生はどこが違う？ 2.生まれた国でどれだけチャンスが変わるのがか。3.親ガチャならぬ国ガチャ	<input type="checkbox"/>
第15回	これまでの振り返り・まとめ	これまでの振り返り・まとめ	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【事前学習】次回授業のテーマについて、関連する自己の体験や印象的な事例をピックアップしておくこと（2時間程度）。 【事後学習】講義で学んだことを再確認の上、自分なりに再考すること。課題が与えられたときは、その日のうちに解決するよう心がけてください（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

講義内容に沿った課題プリントを講義の前に配布する。解答は講義の中で提示する。 講義の最後に行う小レポートで挙がった質問に関しては、次回講義の冒頭で解説する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	世界の様々な国・地域・民族などについて理解し、相手の文化を尊重することができる。他国の文化や国民性が生まれた背景を学ぶと同時に、自国の文化についてもより深く理解し、互いのアイデンティティを尊重することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的な内容)(Specific contents)

授業の終わりにその日の学びについて、小テストor小レポートを実施します。オンデマンドとなった際は、毎回の授業課題の提出(講義内容を踏まえた内容であること)をもって、出席とみなします。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	教科書として購入する必要はありません。必要に応じ、授業の中でプリントを配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	はじめて学ぶ異文化コミュニケーション -- 多文化共生と平和構築に向けて（有斐閣選書）	
2	経営戦略としての異文化適応力 ホフステードの6次元モデル実践的活用法	
3		
4		
5		